

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵米田
所在地	(〒 675-0054 ) 兵庫県加古川市米田町平津 413-1		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・介護サービスでの訪問や、施設での介護にも看護師が積極的に参加しているため情報の共有がしっかりできている。
- ・作業療法士を配置しているため、利用者の心身の状況をこまめに確認し、各スタッフが状況を把握できている。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024__年__2月__27__日	従業者等自己評価 実施人数	(__7__) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------------	------------------	-----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024__年__3月__27__日	出席人数 (合計)	(__4__) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (__人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (__人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (書面) (__1人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1__人) <input type="checkbox"/> 利用者 (__人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (__人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (__人) <input type="checkbox"/> その他 (__人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		今年度は移乗等介護技術の向上を目指し内外の研修参加を行う	作業療法士による移乗の研修を行った 移乗方法や介助方法はビジネスチャットで共有している	移乗技術はまだ未熟。継続して研修を行う必要がある。スライディングシートの導入で負担軽減も務めている
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	モニタリングによりサービス内容の見直しを随時行っていく	ケアマネジャーが訪問、送迎全ての業務に携わり、細かく本人・家族との心身の状況の確認が取れた	細かくやり取りはできるがじっくりと聞く機会が多く取れなかった
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	次年度も引き続き報告書・計画書を確実に配布し、抜けのない連絡を行い信頼関係を継続させていく	報告書・計画書は確実に配布できており連絡も密に取れている。退院時カンファレンスも確実に参加し、入退院時情報漏れのないようにできた	他機関との連携は確実にできている。「聞いていない、知らなかった」はほぼ無かった。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	・喀痰吸引研修修了者の増加 ・認知症実践者研修修了者の増加を目指す	両方とも行えず	本年度は事業所内コロナ感染や人員不足で外部に研修に出すことができなかった
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		医療依存度の高い利用者を積極的に登録していただき、事業所としての経験値を向上させていく	医療依存度の高い方の受け入れに積極的に動いたがサービス導入につながる事が少なかった	新規登録では医療依存度が高い方は少なかったが現存の登録者の状況変化や看取りがあったため、少しずつ経験はつめている

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	カンファレンス能力向上はどのように行っているのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術の向上と負担の軽減（機器導入等）</li> <li>・カンファレンス能力の向上（研修会の開催）</li> </ul>
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な利用の提案</li> <li>・心身状況、家族状況に変化に遅滞なく対応しサービスを変更していく</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も引き続き報告書・計画書を確実に配布し、抜けのない連絡を行い信頼関係を継続させていく</li> <li>・外部研修に参加することでのつながりを作る</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引研修修了者の増加</li> <li>・認知症実践者研修・リーダー研修修了者の増加を目指す</li> <li>・各種地域の会議への参加で地域の問題を知り、地域の行事に参加し顔見知りの関係を築いていく</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人が事業所へ入りやすい工夫も行ってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の個別目標の明確化、差別化</li> <li>・引き続き職員の経験値向上を目指す</li> </ul>

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	5	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>	
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> ①③医療機関との連携により在宅支援に取り組んでいる ②1件あったが独居のため事業所での看取りとなった ④家族からの相談・困り事にも傾聴し、柔軟に対応している ⑤連携に努めている					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		4	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>	
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 理念が職員全員には浸透していない				働くうえで事業所の理念が浸透していないことについて、同じ方向性で業務が行えるよう今一度、事業所の特徴、理念を周知してください	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		1	6		新人が先輩に質問しやすい環境であると思います	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 新人育成のための独自の業務マニュアルを作成しているが、まだまだ内容の向上が必要であり、中長期的な計画までは至っていない					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		3	4		外部のオンラインを活用した研修方法も検討されてみてはいかがでしょうか	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 法人内研修は積極的に受講できている。外部研修の機会が少ない					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に	2	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	情報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 記録ソフトへの書き込みの指導やビジネスチャットの導入で情報の共有を行い、定期的なカンファレンスを開催している					✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている		2	5		・なぜ運営推進会議の内容が浸透しないのか  ・管理者だけでなく他の職員の会議に参加できるようにはできませんか	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	4	1			✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します  ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のため
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 各職員ほぼ希望通りの休みが取れる。急な欠員等以外での残業はほぼなし					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							の支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	4	1			✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ビジネスチャット(chatwork)導入により随時情報共有できるように努めているが業務開始時のチャットの確認ができておらず他の職員に指摘される時がある					
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		4	3		委員会の開催後職員にはどのように周知していますか	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」な
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的に事故防止委員会を開催している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							どが考えられます
<b>② 災害等の緊急時の体制の構築</b>							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		3	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> BCP 作成済み 定期的な研修を行っている					
<b>Ⅱ サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
<b>① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</b>							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセ		3	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ほぼ行えているが、独居生活者の在宅時					



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ できて いる	あまり でき ていな い	全く でき ていな い		
	メントが行われている	の行動や夜間の状況のアセスメントは確 実にには行えていない。					小規模多機能型居宅介護におい ては、家族等を含めた 24 時間の 暮らし全体に着目したアセスメ ントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞ れの視点から実施したアセス メントの結果が、両職種 の間で共有されている	1	5	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセス メント結果の共有」について、充 足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたア セスメントの結果は、その後のつ き合わせなどを通じて、両職種で 共有されることが望ましいとい えます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考え を把握するとともに、その 目標の達成に向けた計画が 作成されている		5	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の 作成」について、充足度を評価し 利用者のみでなく、家族等の考え を適切に把握するとともに、その 考えを含めた計画を作成するこ とは重要であるといえます</li> </ul>
14	○ 利用者の有する能力を最大 限に活かした、「心身の機能	3	4				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かし た、心身機能の維持回復を重視し</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 家族、本人の希望を聞き、作業療法士と相談の上、介護職でもできるトレーニングを行っている					た計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		2	5			✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反	3	4				✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ケアマネジャー自身が介護サービスの提					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	映が行われている	供も行っているので即座に状況変化に対応し計画を変更している 職員が本人家族が言った意見をケアマネジャーに報告し適宜、迅速に変更できている					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	5	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	4	3				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	5	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	5	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		る。 介護士は夜間でも看護師に連絡し指示を受けることが遠慮せずできる関係である					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	6	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</li> </ul>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		3	4		利用者、その家族に対しサービスの趣旨、特徴についてはトラブル防止の観点からも説明についてはすべての職員ができている評価となるよう重点的に取り組んでください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		2	5		利用者、家族への説明時に質問ができる環境になっていますか 説明時に早口になっていませんか	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 利用者・家族に説明の上、同意・了承を得てサービスを行っている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	3				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 理解を得ている。また、家族が不安や混乱される場合には電話をいただき、説明し、理解が難しいときは看護師が訪問し説明する					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		3	4			✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 本人・家族の意向に基づきサービス提供を行えている。 家族の希望に偏っている時がある					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる	2	4	1			✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] サービス開始時点で変化に合わせた対応					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		(施設入所の提案や入院等を進める) を 取らせていただく旨を利用者・家族に説 明しており、本人家族の状況変化によっ て適宜相談をしている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用 者等に適切な時期を見計ら って、予後および死までの 経過を丁寧に説明し、説明 した内容や利用者等の意向 等を記録として残している	2	4	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視 点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし て残している」場合は「よくでき ている」</li> </ul>
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報 共有等により、病院・施設等 からの、利用者の円滑な在 宅生活への移行を支援して いる	2	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への 移行」について、充足度を評価し ます</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファ レンスへの参加」、「利用者等に係 る病院・施設等との継続した情報 共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている		5	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る	1	3	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え		2	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォ</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	られる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 地域の会議に参加し行事を教えてもらい参加している					一マルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		1	5	1		✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 記録は内部、外部問わず誰でも閲覧できるようにしている。 記録があるのはわかっているが閲覧できていない職員もいる					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	3	3	1			✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 地域の会議に参加、地域の方への講座を行った。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している				7		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				7		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よく</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							できている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				7		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 現在までにニーズがなく、体制としては夜間の対応の体制はできていない</p>					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4	3				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 体制は整っており、今年度 1 名看取りを行った</p>					
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38				6			✓ 「内容等の理解」について、その

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している				1	理解できていない職員に対する研修や勉強会など、理解を深める取り組みをおねがいします	<p>充足度を評価します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	5	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に			2	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	応じて課題提起や改善策の 提案等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 地域の会議に参加し地域の情報を共有で きているが課題提起や改善策の提案は行 えていない。					価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じ て得た情報や知見、多様な関係者 とのネットワーク等を活用し、必 要となる保険外サービスやイン フォーマルサービスの開発・活用 等、利用者等のみでなく地域にお ける課題や改善策を関係者に対 して提案していくなどの役割も 期待されます ✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出し や向上のための具体的な取 組等が行われている		4	3			✓ 「家族等や近隣住民に対する、介 護力の引き出しや向上のための 取組」について、その充足度を評 価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高め ることにより、在宅での療養生活 を支えていくための環境を整え ていくなどの役割も期待されま す ✓ そのような取組をしたことがな

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない  <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 計画が継続中の方が多い		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない  <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療ニーズのある利用者においての在宅生活については訪問送迎の介護士やケアマネジャーが話を伺い看護師につなぎ不安なく生活できている		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> おおよそ納得いただけていると感じる</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>